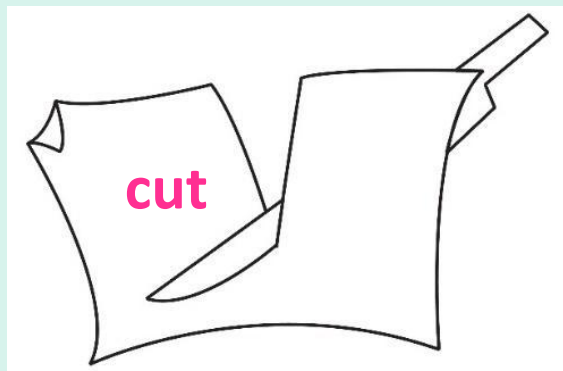


< 基本動詞 > CUTの世界

Let's cut class.

CORE IMAGE



鋭利なもので切る



cut は「切る」に違いはありませんが、そのコアは「鋭利なもので切る」というものです。

そこで、台風で電線が切れたという場合、風の力は鋭利なものではないため、cut は使えません。ここでは break を用います。



鋭利なもので切るということには「切り込む」ということと、「切り離す」ということが含まれます。例えば、**She cut the paper.** といえば、「彼女はその紙を切った」ということですが、紙を途中まで(間違っ)切ったという場合と、紙を二枚に切り離したという場合が考えられます。「切り込み」から「怪我をする」という意味が展開します。ナイフで指を怪我したという場合、**I cut my finger on a knife.** といいます。



She **cut** the paper.

彼女はその紙を切った



I **cut** my finger on a knife.

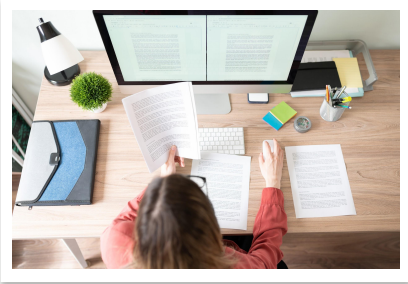
ナイフで指を怪我した

しかし、「切り離し」のイメージが cut の典型です。髪の毛を切ったり、ケーキを切り分けたり、記事を切り取ったりする場合はすべて「切り離す」というイメージです。また、「授業」を活動から切り取れば **Let's cut class**. のように授業をサボることになります。編集長がある記事をカットする場合も **cut an article** といいます。また、「切り取る」のイメージから「削減」だとか「縮小」という意味も展開します。コストを減らすは **cut costs** と表現し、**The company was forced to cut costs to a third.** (その会社はコストを 3 分の 1 に減らさざるを得なかった) のように用います。



Let's **cut** class.

授業をサボろうよ



cut an article

(編集長が)ある記事をカットする



The company was forced to **cut** costs to a third.

その会社はコストを 3 分の 1 に減らさざるを得なかった

さらにもうひとつ、**She cut me.** だと彼女はぼくを無視したという意味になりますが、これも彼女の視野から僕を切り離したという感じでしょう。



She **cut** me.

彼女はぼくを無視した

次のような用法も考え方は同じです。



This coffee is too strong. **Cut** it with milk.

コーヒーがとても濃いので、ミルクで薄めてね



I'll **cut** a long story short.

手短かに話します



His words were **cut** short by a big noise.

彼の言葉は大きな騒音で中断された